

第1弾「おと」編



杉本 周介

幼少時から原村で育つ。高校卒業後アメリカ、スイス、オランダ等で作曲や鍵盤楽器を学ぶ。チェンバロ、クラヴィコード、オルガンなどを中心に幅広い鍵盤楽器を手がけている。古楽アンサンブル「コントラポント」「山梨バッハアカデミー・バロックオーケストラ」「東京古楽団」他、多数の古楽アンサンブルで通奏低音奏者を務める。映像関係の音楽製作など、作曲活動も行なっている。



原 謡子

東京学芸大学芸術専攻卒。2012年より原村に在住。中世ルネサンスから古典派歌曲に至るレパートリーを、透明感のある独特の歌唱法で演奏している。2016、2017年「はらむら古楽祭」において古楽アンサンブル「コントラポント」と共演したほか、数多くの古楽コンサートで演奏している。2017年CD冊子「雪下の水音」、2018年CD「The Scenery of Old Songs」をリリース。

第2弾「からだ」編



大手 可奈

1996—99年、リヨン国立高等音楽院バレエ科へ留学、ディプロム取得。卒業後、ベルンバレエ(スイス)、カルト・ブランシュ(ノルウェー)等のダンスカンパニーに所属。後に、フリーランスダンサーとして国内外の数々のプロジェクトに参加。2010年、ポーラ美術振興財団の在外研修助成を受け、イスラエルのパットシェバ舞踊団にて研修。2011年、Gagaインストラクター育成プログラムに日本人初として参加し、インストラクター資格を取得。2012年より活動拠点を日本に移し、Gagaインストラクター、フリーランスダンサーとして活動中。

第3弾「ことば」編



藤井 由紀

1995年劇団唐組入団。多くの作品でヒロイン役を飾る。優雅なたたずまい、繊細な演技で知られる紅テントの看板女優。主演代表作は「糸女郎」「津波」「泥人魚」「秘密の花園」「ふたりの女」など。外部出演も多数。芝居×ファッションショー「桃花節プロジェクト」第1回～3回公演、project NYX「新宿版 千一夜物語」、「時代はサーカスの象にのって」、温泉ドラゴン「幸福な動物」など。リーディングは、泉鏡花「高野聖」、「山吹」、「湯島の境内」唐十郎「雨月の使者」など。

【映画出演】若松孝二監督「実録・連合赤軍 あさま山荘への道程」

・第25回読売演劇大賞 優秀女優賞。



中山 一郎

1990年(財)水戸芸術館劇団ACMに入団。その後劇団SCOT、(財)静岡県舞台芸術センター劇団SPACを経て、2000年退団。鈴木忠志の代表作「リア王」のリア王役、「ディオニュソス」のディオニュソス役など主要な役を演じてきた。モスクワのモスクワ芸術座、ロンドンのバービカンシアターなど海外公演にも参加。

【映画出演】日中合作映画「王様の漢方」(2002年) 時代劇映画「丹下左膳〜百万両の壺」(2004年)



久保庭 尚子

1990年(財)水戸芸術館劇団ACMに入団。その後劇団SCOT、(財)静岡県舞台芸術センター劇団SPACを経て、2010年退団。現在フリー。ACM時代、岩松了作・演出「恋する妊婦」に出演。SCOT・SPAC時代は鈴木忠志演出作品には欠かせない女優として活躍し、「ディオニュソス」のアガウエ役や「サド侯爵夫人」のモントルイユ夫人役などを演じる。海外公演も多数参加。

茅野市民館をサポートしませんか2018

主催：茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造 企画制作：NPO法人サポートC

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

後援：茅野市、茅野市教育委員会、信濃毎日新聞社、長野日報社、市民新聞グループ(7紙)、LCV



いいとこみっけ!
Support



茅野市民館をサポートしませんか2018

感じる力をもっている
表す力をもっている

「おと・



からだ・

ことば」を

感じるシリーズ

〈おと・からだ・ことば〉をテーマに
〈感じる・受け取る・気づく・表す〉
体験講座を開催します。

第1弾 舞台で音楽家は何を考えるか 10.12 fri.

第2弾 動くよろこび 感じあおう 11. 3 sat.

第3弾 ことばの力 リーディング公演 12. 1 sat.

舞台上音楽家は何を考えるか

秋の夜長、古楽にふれる サロンへようこそ

チェンバロ奏者・杉本周介さんを案内役に、音を感じるサロンのような講座を開催します。

バッハらが活躍していた時代の音楽を中心にしたお話と演奏を、ソプラノ歌手・原謡子さんとの共演を交えてお届けします。

楽器から奏でられる音を紡ぎ、至高の音楽を生み出そうとしてきた作曲家たちと、その楽譜から想像をはばたかせ、それぞれの人生を通したもののへと昇華していく演奏家の表現。

表現する場である「舞台」にあがるまでの試行錯誤など、コンサートとはひと味ちがう音楽の感じ方を、一緒に楽しんでみませんか。

2018年10月12日(金) 19:30

茅野市民館 マルチホール

出演:杉本周介(講師)

原 謡子

料金:無料

定員:100名(要事前申込み)



茅野市民館をサポートしませんか2018

「おと・からだ・ことば」を感じるシリーズ

「音・身体・言葉」の表現に触れ、楽しみながら掘り下げる講座を開催します。それぞれのもつ力を感じ、受け取る体験や、舞台に立つ人がどのようにイメージを表現するか、その入り口に触れることで、表現の根本にある楽しさを発見する機会です。一人ひとりの感性をまわりの人たちと分かちあい、表現する喜びへと向かうステップアップを目指します。

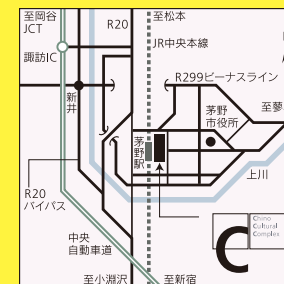
【申込み・問合せ】

茅野市民館 TEL 0266-82-8222

長野県茅野市塚原一丁目1番1号

受付 9:00~20:00 火曜休館

「茅野市民館をサポートしませんか2018」は劇場に親しむさまざまな体験をお届けするプログラムです



動くよろこび 感じあおう

動いて感じるワークショップ+おはなしとおためし

【ワークショップ】

自分のペースで◎ 60分ノンストップ／

【おはなしとおためし】

踊るってどういうこと? ダンサーは
どんなふうにイメージを表現するの?／

ダンサーの大手可奈さんを講師に、心と体をと
きほぐす動きを体験するワークショップを開催
します。

同じ空間にいる人たちが、それぞれ自由な動き
で、なにかを感じあう。だれもがもっている「動く
よろこび」。一緒に発見してみませんか。

2018年11月3日(土・祝) 13:30

茅野市民館 マルチホール

講師:大手可奈

料金:無料

定員:30名(要事前申込み)

対象:高校生以上

※詳細はお問合せください



ことばの力 リーディング公演

言葉に託された愛を伝える 語りの表現をお届けします

【演目】

「ホタル帰る」「特攻隊員の遺書」(予定)

俳優の藤井由紀さん、中山一朗さん、久
保庭尚子さんによるリーディング(朗読)
公演をお届けします。特攻隊員たちが遺し
た言葉をもとにした内容です。

過去に記され、今に遺された言葉たち。目
の前の言葉を声にして読み、託された愛を
伝える語りの表現を、ともに味わいます。
今を生きるわたしたちの心にふれ、未来へ
とつながれていく「ことばの力」。一緒に感
じてみませんか。

2018年12月1日(土)

茅野市民館 アトリエ

出演:藤井由紀、中山一朗、久保庭尚子

【高校生以下無料公演】14:00 開演

未来を担う若者に向けてお届けする公
演です

料金:高校生以下 無料(要事前受付)
※一般の方も通常料金(1,000円)でご鑑賞
いただけます

【一般公演】17:00 開演

料金:一般 1,000円、高校生以下 500円

どちらの公演も同じ内容です
全席自由、上演時間 約1時間30分(予定)